

田川市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市全域を対象として実施】

- 公共施設や飲食店等の民間施設のバリアフリー情報を、障害当事者も所属するボランティア団体と連携し、県全域を対象とした「ふくおかバリアフリーマップ」に掲載(田川後藤寺駅及び田川伊田駅を中心に100店舗の情報掲載を目標)
- バリアフリー法に基づくマスタープランを策定(2020年度策定予定)
- ◆ 経済会協議会の心のバリアフリー研修を市職員、市民に実施、本年度は中学生に拡大実施
- ◆ 小学校3校でポッチャ体験と人権教室を開催
- ◆ 全小学4年生を対象にブラインドサッカー研修会実施
- ◇ 小学校1校で公共施設や周辺の店舗の調査点検を行いバリアフリーマップづくりを体験

【中心市街地】

- 駅前広場にバス専用の駐車スペースを設置
- 駅前広場を無電柱化し障害者等が歩きやすい歩行空間の整備
- 主要な市道及び田川伊田駅前広場に視覚障害者誘導ブロックの設置

【中心市街地】

- 県内パラアスリート等の障害当事者がまち歩きし、課題解決のための心のバリアフリー推進のアクションプランを策定

中心市街地

田川後藤寺駅

体育施設ゾーン

市民プール
総合体育館

中心市街地

田川伊田駅

【体育施設ゾーン】

- 総合体育館のトイレ、シャワー、観覧スペース、自動ドアのバリアフリー化(2018年度完了)
- 企業版ふるさと納税を活用し、トレーラーハウスを活用した車いす対応型合宿所を15棟整備(2020年3月完成)
- ◇ ドイツ及びベラルーシ車いすフェンシングチーム合同キャンプで、小学生がビデオレターや歓迎ポスターを作成し、子どもたちが参加しおもてなし交流を実施(2019年9月)
- ◇ 「東京2020大会1年前イベントin田川」で地元パラアスリート講演、パラスポーツ体験、NTTと連携し障害の有無に関わらず楽しめるVRフェンシング体験を開催
- ◇ 障がいのある方のみ市民プールを1日開放する「バリアフリーデー」を開催し、福祉事業所、県立大学等が運営ボランティアを実施(令和元年度)

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業(計画中の事業)

【心のバリアフリー】

- ◆ 現在実施中の事業
- ◇ 今後実施予定の事業(計画中の事業)

(記載凡例)

・目玉事業 → 赤字

266.2m